

第30回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会の概要

○開催日時 令和4年3月25日（金）1030～1130

○場 所 京丹後市峰山庁舎 2階201～203会議室

○出席者 【京丹後市】副市長

【京都府】総務部副部長、丹後広域振興局地域連携・振興部長（丹後広域振興局長代理）

【京都府警察本部】警備部理事官（警備第一課長代理）

【京丹後警察署】警備課長（京丹後警察署長代理）

【地域住民代表】京丹後市区長連絡協議会会長

宇川連合区長会会長兼京丹後市袖志区長

京丹後市防犯委員会会長

京丹後市女性連絡協議会副会長

京丹後市尾和区長

京丹後市中浜区長

島津連合区長

【米軍経ヶ岬通信所】第14ミサイル防衛中隊長

【航空自衛隊】経ヶ岬分屯基地第35警戒隊長

【近畿中部防衛局】企画部長、業務課長（管理部長代理）、京丹後現地連絡所長

○近畿中部防衛局からの説明

I 経ヶ岬通信所における状況等

（1）隊舎入居に係る状況

（2）三角地の整備

（3）交通事故の状況等

II 住民の安全・安心

（1）交通安全に対する取組

（2）交通誘導及び巡回警備

（3）水質調査及び藻場分布状況の確認

III 日米交流及び地域振興策の状況

（1）日米交流等

（2）まちづくりへの支援

IV その他

（1）新型コロナウイルス感染症対策

（2）ドローン等の飛行禁止に係る周知看板の設置

（3）近畿中部防衛局広報誌

○米軍経ヶ岬通信所司令官の挨拶

- ・ この会議にお招きいただき感謝する。
- ・ 1月に新型コロナウイルス感染者が発生した際、保健所や医療機関に支援いただき感謝する。経ヶ岬通信所職員の中で、3回目のワクチン接種者が増加してきており、感染予防対策及びワクチン接種の効果が地域の懸念の軽減に繋がることを願っている。
- ・ 前回の連絡会以降、住居支援区域内の隊舎への兵士の入居が完了した。携わっていただいた多くの作業員、エンジニア、市の関係者や地域の皆様方には、これまでの協力に感謝する。
- ・ 発電機については、引き続きメンテナンス及び必要不可欠な時のみに限定した使用にとどめるよう努める。避けられない緊急時の使用については、ご理解をお願いする。
- ・ 来月、丹後文化会館にて開催するイースターエッグハントへの参加を楽しみにしている。

○防衛局の説明・構成員の意見等の概要

(1) 三角地の整備

【説明要旨】

- ・ 三角地の整備については、先般完了した第Ⅱ期工事の計画には含まれておらず、引き続き、米側において設計を行っている段階と聞いている。また、米側内部の各種承認手続や予算確保が必要と聞いており、現時点では、整備の内容や時期などについて具体的な情報はない。しかしながら、三角地は、通信所への円滑な車両入門のため、進入路等の設置を目的として米側へ提供した土地であり、地域の交通安全に資することからも、可能な限り早期に整備が行われるよう、米側に継続して働きかけるとともに、新たな情報に接した場合には、この連絡会等を通じて情報共有する。 (近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 地元の交通安全につながる通信所への円滑な車両入門を確保するためにも、早期に三角地の整備に着手するよう努めていただきたい。 (京都府)
- ・ 市民の皆さんから大切な財産を提供していただいた用地であり、提供当時の趣旨に沿って、早期の着工・完成に向けて、米側への働きかけをお願いしたい。 (京丹後市)

【回答要旨】

- ・ 通信所への円滑な車両入門を確保することを目的として提供しており、当局としても提供の趣旨に沿って整備されるよう引き続き米側に求める。 (近畿中部防衛局)

(2) 交通事故の状況等

【説明要旨】

- ・ 米軍関係者による交通事故については、昨年11月から本年2月末までの間で、3件の物損事故が発生した。近畿中部防衛局としては、交通事故の情報に接した後、速やかに米軍へ再発防止を徹底するよう、注意喚起を行った。
- ・ 地元と米軍との交通安全に資する情報共有については、昨年11月から本年2月末までの間に、野生動物に関する目撃情報が5件あり、これらの目撃情報については、速やかに地元と米軍へ情報共有がな

されている。近畿中部防衛局としては、本資料を地元と米軍に提供するとともに、引き続き、地元と米軍との交通事故の未然防止につながるよう取り組む。

- ・ エリオット司令官におかれては、引き続き、米軍関係者に対する安全運転の注意喚起や交通安全講習会への参加を促すとともに、地元との有益な情報共有に取り組むなど、交通事故の未然防止対策に向けて指導方よろしく願います。(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 今回、報告のあった3件の交通事故は、軽微なものであったとのことであるが、交通事故の報告があったことを踏まえ、引き続き、効果的な未然防止策を講じるとともに、通信所の米軍関係者への交通安全教育を徹底いただきたい。また、地域の交通安全の確保に必要な情報については、迅速かつ適切に提供いただきたい。(京都府)
- ・ 隊舎での居住開始に伴い、京丹後市内の市街地等への自家用車での移動の頻度が増えると考え。交通事故の未然防止と交通安全の徹底を改めて要請する。(京丹後市)
- ・ ヘアピンカーブの解消により安全確保が格段に改善されることから、(仮称)屏風岩橋の事業化について検討いただきたい。(京丹後市)

【回答要旨】

- ・ 近畿中部防衛局としては、交通安全について、これまで機会あるごとに、米側に対して注意喚起を行うとともに、交通安全マップ及びポスターの作成・配布、交通安全講習会の実施など、各種施策に取り組んできており、引き続き、交通事故の未然防止に努めるとともに、地域の交通安全の確保に必要な情報の提供については、野生動物の目撃情報などの情報に接した場合には、地元と米軍との情報共有に取り組むなど、引き続き、適切に対応してまいります。
- ・ (仮称)屏風岩橋の事業化については、自衛隊車両の通行による障害など実態を踏まえたうえで検討する必要があると考えている。(近畿中部防衛局)

(3) 水質調査及び藻場分布状況の確認

【説明要旨】

- ・ 経ヶ岬通信所においては、第Ⅱ期工事において、浄化槽の設置及び排出先の整備工事が完了し、浄化槽による汚水処理が行われている。米軍の浄化槽は、隣接する空自基地と同様の仕様であり、日本の環境の基準に適合することを前提として製作された日本製と承知しており、また、米側において、日本の浄化槽法が定めるところと同様、毎年1回の排出水の水質検査を含め、日本で行われている管理と同様の保守・点検を行い、周辺環境に影響を及ぼさないよう徹底すると聞いている。
- ・ 加えて、近畿中部防衛局においては、地元のご要望を踏まえ、処理水の排出による海の環境への影響を確認するため、周辺海域の海水の水質調査と藻場分布状況確認を、排出開始の前後で比較できるよう、継続的に調査を行っている。浄化槽の運用開始から約1年が経過し、今般、米軍人の隊舎入居が完了したこと及び海藻類の繁茂時期を踏まえ、3月1日及び2日に、排出開始後2回目の水質調査及び藻場分布状況の調査を実施した。調査結果については、現在、データの分析を行っているところであり、準備が整い次第、改めて連絡会の場等において報告する。(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 軍人の隊舎への入居が完了したことを踏まえ、通信所からの排水により、周辺環境に影響を及ぼすことのないよう、引き続き、浄化槽の適切な管理に努めるとともに、今回の水質調査及び藻場分布状況の確認における結果などを踏まえ、判明した通信所からの排水開始後における周辺環境への影響等については、連絡会などの場で丁寧に報告いただきたい。
(京都府)

【回答要旨】

- ・ 令和3年3月以降、米側での水質検査が日本の業者によって実施されており、当局としても浄化槽が適切に管理されていると認識している。
(近畿中部防衛局)

(4) 日米交流等

【説明要旨】

- ・ 日米交流事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、残念ながら今年度も当局主催のイベントを開催することはできなかった。他方で、米側独自の音楽会・ハロウィンパーティ等の文化交流や海岸清掃等のボランティア活動は行われ、良き隣人となれるよう米軍も努力している。また、京丹後市国際交流協会においても、音楽会等のイベントを開催し、米軍との交流の機会を絶やさないよう尽力されており、当局も微力ながらこうした機会に協力している。当局としても、市民の皆様と米軍との相互理解の促進は重要であると考えており、引き続き、新型コロナの状況を慎重に見極めつつ、市民の皆様のご意見を伺いながら、来年度に向けて、積極的に交流事業の企画、支援に努めていく。
(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 市では宇川地域のさらなる地域振興の拠点施設として、新たなコミュニティ施設の建設を検討している。完成は少し先になるが、この施設を活用した交流事業を含めて、隊舎居住を機に、良き隣人として米軍関係者と地元との交流が進むことを願っている。
(京丹後市)
- ・ 先日行われた隊舎の完了式の際、在日米陸軍司令官と中山市長の会話の中で通信所の施設を開放した地域住民との交流行事についての前向きな発言があったとのことであり、実現に向けて検討をお願いしたい。
(京丹後市)

【回答要旨】

- ・ 新たなコミュニティ施設の整備は、地元の方々と米軍関係者との相互理解を一層促進させたいと考えている当局としても大変心強い動きであり、完成後には、当局主催の交流事業においても活用させていただきたい。
- ・ 通信所内でのイベントについては、要望を米側に伝えるとともに、当局としてもどのような形で協力ができるか検討する。
(近畿中部防衛局)

(5) 新型コロナ感染症対策

【説明要旨】

- ・ 現在、全国の米軍基地では、基地内におけるマスク着用義務が解除され、国が雇用する日本人従業員と接触する場合には、マスクの着用を推奨することとされているが、経ヶ岬通信所においては、地域の感染状況を踏まえ、地元の皆様の安心に繋がるよう、基地内においてもマスク着用を継続していくと米側から説明を受けている。なお、基地の外においては、在日米軍の方針によりマスク着用義務が継続されている。
- ・ ワクチンに関しては、経ヶ岬通信所に勤務する軍人・軍属のうち希望者に対して3回目の接種が実施された。なお、国が雇用する日本人従業員についても、希望者は在日米軍から追加接種を受けられるとの方針を防衛省は決定しており、希望者は、前述の軍人・軍属と共に医療チームから追加接種を受けた。
- ・ 新型コロナ感染症対策については、引き続き日米間で連携の上、適切に取り組んでいく。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 本年1月に、経ヶ岬通信所に勤務する米軍関係者の陽性が判明した際には、府の保健所、防衛局、米側の間で連携がとられ、円滑な対応が行えたことに御礼申し上げます。引き続き、保健所と米軍が緊密に協力した上で、通信所内や居住地等における感染症対策について、徹底するよう努めていただくとともに、今後も、万が一、米軍関係者の新たな陽性が判明した場合には、保健所の実施する調査や措置等に対し、積極的に協力いただきたい。(京都府)
- ・ 先日、経ヶ岬通信所におけるマスク着用の徹底についての要請文書を防衛局及び米側にお送りしたところだが、早速の対応をいただき感謝する。引き続き、新型コロナ感染症対策について、日本側と同等・同様の対策の徹底・継続をお願いします。(京丹後市)

【回答要旨】

- ・ 新型コロナ対応については、地域の感染状況を踏まえ、地元の安心につながるよう、基地内においてもマスク着用を継続していくと米側から説明を受けており、引き続き日米間で連携を取りつつ、感染拡大防止に努める。(近畿中部防衛局)

(6) その他

【意見要旨】

- ・ 重要土地等調査法について、現在、国において注視区域及び特別注視区域の指定に向けて準備が進められていると認識している。この指定に当たっては、衆参両院の附帯決議として、当該区域に属する地方公共団体の意見を聴取する旨を基本方針に定めること等が示された。区域指定のあり方については、地元自治体としても強い関心を持っており、ぜひ、地元の意見を前広にお伝えしたいと考えていることから、意見聴取に関して、具体的な時期や手続き方法など、関連する情報があれば速やかに情報共有をお願いします。(京丹後市)

【回答要旨】

- ・ 重要土地等調査法については内閣府及び内閣官房が主管となっているが、防衛省としては、施行に向けた準備が行われており、区域指定は土地等利用状況審議会の意見を踏まえて決定されるものと承知している。指定される施設の数や時期などは決まっていないが、今後とも情報収集に努め、得られた情報については適宜共有する。
(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 昨今の国際情勢を見ていると、レーダーが設置されていることによって真っ先に狙われるのではないかと、狙われてもこの地域にはシェルターなどの逃げる所がなく不安に思うことがある。杞憂で終わることを願っている。
(地域住民代表)

【回答要旨】

- ・ 通信所が所在することによりリスクが増加するとは考えていない。他方、そのようなご意見を伺うためにも、当連絡会は重要な機会と考えている。
(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 防衛局の現地連絡所や市の窓口など現場での対応に感謝している。一方で、幹部との距離が遠いと感じており、地域の実情の吸上げが十分でないと感じている。
(地域住民代表)

【回答要旨】

- ・ 地元の様々な意見を伺うことは重要と考えており、今後とも連絡会の場等で様々な意見をお聞きし、丁寧な対応を行ってまいりたい。
(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 以前台風被害があった際、地元でなかなか動ける人が少ない中、率先してボランティア活動を行ってくれた米軍に感謝している。また、以前は道路事情が酷かったが、整備され改善されてきたと感じる。
(地域住民代表)

以上